

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586013702	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	浜田 久之 / Hamada Hisayuki, 福田 英輝 / Fukuda Hideki, 鶴飼 孝 / Ukai Takashi, 宍倉 学 / Shishikura Manabu, 佐藤 光 / Satou Hikaru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	浜田 久之 / Hamada Hisayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	浜田 久之 / Hamada Hisayuki, 福田 英輝 / Fukuda Hideki, 鶴飼 孝 / Ukai Takashi, 佐藤 光 / Satou Hikaru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	浜田久之: hhamada_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	浜田久之 長崎大学病院医療教育開発センター		
担当教員TEL / Tel	浜田久之 095-819-7881		
担当教員オフィスアワー / Office hours	浜田久之 月~金8:45-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標 / Goal	健康と医療に関する日本のヘルスケアシステムを知る。 自身の健康増進のために何をすべきかを自覚する。 様々な疾病の一般的な知識を獲得する。 グローバルな視点で医療を考えることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	医療システム 健康増進 様々な疾病		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に必要に応じて資料を配布する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	出席時に毎回、テーマに関する考察(200字~400字)を提出し、これを10点とする。100点以上を合格とする。90点以下は不合格。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日頃より医療に関する新聞・TVニュース等に注目すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9/29 世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。		
第2回	10/6 健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に。)		
第3回	10/13 健康維持や生活習慣病予防について考える(消化器疾患を中心に。)		
第4回	10/20 現代社会における口腔管理の必要性		
第5回	10/27 歯と骨の疾患の深い関係		
第6回	11/10 種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。		
第7回	11/17 噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。		

第8回	11/24 歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。
第9回	12/1 うつ病のことを理解しよう
第10回	12/8 うつ病のことを理解しよう
第11回	12/15 認知症とは
第12回	12/22 認知症とは
第13回	1/5 海外旅行で病気にならない方法（予防接種を中心に）
第14回	1/19 海外旅行から元気に生きて帰ってくる方法（グループで事例検討）
第15回	1/26 海外旅行のリスク（3回のまとめ）
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586014502	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 高橋 和雄 / Takahashi Kazuo, 宍倉 学 / Shishikura Manabu, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp ? (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部流体エネルギー工学研究室 ?		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516 ?		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。 ?		
授業到達目標 / Goal	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心 (科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。 ?		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。 ?		
授業内容 / Class outline / Con	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・長崎の豪雨災害をはじめ、これまで発生した災害を教訓に日本各地で防災の都市づくりが進められている。国や自治体レベルで行われている施策を学び、さらに災害が起こったときの備えについて学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもち、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。 ?		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心 ?		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 ?		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する ?		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第 1 回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
第2回	第 2 回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第 3 回 安全文化について(林)
第4回	第 4 回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第 5 回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第 6 回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
第7回	第 7 回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 2
第8回	第 8 回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第 9 回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第 1 0 回 自然災害と安全・安心 その 1 (高橋)
第11回	第 1 1 回 自然災害と安全・安心 その 2 (高橋)
第12回	第 1 2 回 自然災害と安全・安心 その 3 (高橋)
第13回	第 1 3 回 化学物質の安全・安心 その 1 (久保)
第14回	第 1 4 回 化学物質の安全・安心 その 2 (久保)
第15回	第 1 5 回 化学物質の安全・安心 その 3 (久保)
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586028101	科目番号 / Subject code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (経済と生活の安全・安心) / Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	穴倉 学 / Shishikura Manabu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部 東南アジア研究所206号		
担当教員TEL/Tel	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日13:00?14:30(可能であればメール等で事前に連絡してほしい)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	経済社会が発展する中で、リスクや不確実性がもたらすコストや不安を削減するために社会システムがどのような機能や役割を担っているのかを、経済学・経営学・法学などの社会科学的側面から照射することで、リスクに向き合う社会が抱える課題や困難、今後の方向性を理解する。		
授業到達目標/Goal	リスクに対する保険の役割を理解するとともに、私的保険と公的保険の境界・役割分担について、経済学のツールを用いて理解できるようになる。また、保険制度が抱える諸課題や政府等で議論されている社会保障の在り方などについて理解するとともに、自らの見識や見解を持てるようになることを目的とする。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義資料を配布し、同資料に基づき講義を行う。なお、授業の理解を確認するために不定期に小テストをおこなうことがある。また進捗に応じてグループディスカッションやプレゼンテーションを行ってもらう。なお、講義中に意見を求めることがあるので、指名された場合は、積極的に発言等を行うよう心がけてもらいたい。		
授業内容/Class outline/Con	第1回?第4回は、リスクの内容を把握し、リスクに対する選好や意思決定のメカニズムを理解する。第5回?第6回は、リスクへの対処方法としてリスクマネジメントの在り方を理解する。第7回?第8回は、リスクマネジメントの中でも保険を採り上げ、保険の需要と供給特性を規定する特徴を理解する。第9回?第10回は、民間保険をとりあげ、その概要を整理する。第11回?第12回は、公的保険をとりあげ、各社会保障の概要と特徴を理解する。第13回?第14回は、社会保障制度を概観したのち、これらが抱える課題を理解する。第15回は総括、第16回は定期試験を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前の学習として、「教科書・教材・参考書」に示した文献を3, 2, 1の順で一読しておくこと。		
キーワード/Key word	リスクと不確実性、私的保険と公的保険、社会保障、効率と公平		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	下記の文献を適宜利用する。 1. 小塩隆士(2013)「社会保障の経済学(第4版)」日本評論社 2. 下和田功(2010)「はじめて学ぶリスクと保険(第3版)」有斐閣ブックス 3. 米山高生(2014)「リスクと保険の基礎理論」同文館出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60%、授業中に実施するプレゼンテーションや小レポート40%。合計60%以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。  アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビなどで報道される保険や社会保障関連の記事やニュースを、日々チェックするように心掛けるようにしてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス		

第2回	不確実性とリスク
第3回	リスクへの選好とリスク下での意思決定?
第4回	リスクへの選好とリスク下での意思決定?
第5回	リスクへの対処?リスクマネジメント?
第6回	リスクへの対処?リスクマネジメント?
第7回	保険の需要と供給?
第8回	保険の需要と供給?
第9回	私的保険?
第10回	私的保険?
第11回	公的保険?
第12回	公的保険?
第13回	社会保障?
第14回	社会保障?
第15回	総括(これまでのまとめ)
第16回	総括(定期試験を含む)